

平成28年度事業報告および附属明細書

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

はじめに

平成28年度の国内経済は、海外の景気動向や為替の影響を受けて輸出は伸び悩んだものの、住宅投資が上向き、製造業の稼働率も回復の兆しを見せた他、インバウンド効果もあり個人消費や設備投資も持ち直しつつあるなど比較的安定した推移となりました。

一方、富山においては、28年度は製造業の生産が大幅な伸びを示し、北陸経済全体の回復をけん引し、個人消費も持ち直しが続き、域内需要が回復に向かいつつあります。

そのような状況の中で、当協会においては、前年度に引き続き講習受講者のサービス向上に努めた結果、昨年更新した過去最高の受講申込者数を上回る数を記録するなど堅調に推移しました。

事業報告及び平成28年度決算

I 事業の概況

1 事業の経過および成果

- (1) 講習（資格付与・教育）事業では、受講者実績を踏まえ、受講者数増が見込める講習の回数を増やすなど事業の再編を図り、その結果受講申込者数は昨年度を上回り過去最高記録を更新し、11,398名となりました。
- (2) 労働関係法令普及啓発事業では、「ストレスチェック制度の現況とその対応について」を開催し、昨年引き続き「年間安全衛生管理計画の立て方講座」を開催、新規に「育児・介護（改正）対応セミナー」並びに「化学物質のコントロールバンディング研修」を開設しました。
- (3) 防災団体共催事業では、富山県産業安全衛生大会を開催しました。
- (4) 経常収益は249百万円で増収（前年度比4百万円増）となりました。
- (5) 経常費用は234百万円（前年度比3百万円増）で、この結果、当期経常増減額は15百万円（前年度比百万円増）となりました。
- (6) 法人税等を差引いた一般正味財産増減額は、14百万円となり、前年度と同額となりました。
- (7) 公益目的事業である広報紙「とやま労基」の発行については、公益目的支出額は8百万円と、公益目的支出計画5百万円を大幅に上回りました。

<講習(資格付与・教育)事業>

- (1) 本年度の計画は、受講申込者数 10,468 名としましたが、計画を大きく上回った講習は、フォークリフト運転、小型移動式クレーン、乾燥設備作業主任者の各技能講習、自由研削といし取替試運転者特別教育、アーク溶接等業務特別教育、粉じん作業特別教育、職長・安全衛生責任者教育、腰痛予防教育でした。一方、計画を大きく下回った講習は、玉掛け、床上操作式クレーンの各技能講習、クレーン運転特別教育でした。これらの結果、平成 27 年度に記録した過去最高の受講申込者数 10,782 名を更新し、11,398 名となりました。
- (2) 玉掛け技能講習や足場の組立て等特別教育など計画外の講習を、出張して行うなど 13 事業場に対して行いました。

<労働関係法令普及啓発事業>

- (1) 労務部会・衛生部会合同で、「ストレスチェック制度の現況とその対応について」を開催しました。

日 時 8月5日(金)、8日(月)

場 所 富山産業展示館(富山会場)

アイザック小杉文化ホール(高岡会場)

参加者 富山会場 67名、高岡会場 82名 計 149名

講 師 富山産業保健総合支援センター

副所長 正満 英喜 氏

産業保健相談員 小杉 由起 氏

事例発表 アイシン軽金属(株)

安全環境部ウェルネスセンターなごむ保健師

今度 悠樹 氏

- (2) 「年間安全衛生管理計画の立て方」を、昨年引き続き実施、受講者数は、29名でした。
- (3) 「育児・介護(改正)対応セミナー」講座を新規に開設、2月20日に実施し、受講者数は、36名でした。
- (4) 「化学物質のコントロールバンディング研修」講座を新規に開設、3月28日に実施し、受講者数は、43名でした。
- (5) (株)労働調査会と共催し、建設業を対象とした「雇用管理研修(無料)」を10月~12月にかけて実施しました。参加者数は、計127名でした。

< 災防団体等共催事業 >

(1) 富山県産業安全衛生大会 (県内災防団体)

昨年に引き続き 7 月に開催し、富山労働局安全衛生表彰式を行いました。

開催地	開催日	発表者	特別講演者	参加者	内協会会員
富山市	7月14日(木)	・THP事例発表 富山小林製薬(株) ・事例発表 ニットビバレッジ(株)	トータル フィットネス・ インストラクター 西本真寿美 氏 「働き盛りの健康 法」	320名	75名

(2) 全国安全週間説明会、全国労働衛生週間説明会 (県内災防団体)

地区名	安全週間説明会	衛生週間説明会	合計
富山	398名	419名	817名
高岡	211名	201名	412名
魚津	246名	227名	473名
砺波	235名	198名	433名
計	1,090名	1,045名	2,135名

(3) 衛生管理者等労働安全衛生国家試験の出張試験 (技術試験協会)

開催場所	開催日	受験者数	合格者数	合格率 (%)
富山大学	7月31日(日)	1,363	680	49.9

< 全基連委託事業 >

新規起業事業場就業環境整備事業

区分	開催日	参加者数
人材確保・定着のための労務管理セミナー	10月8日(土)	18名
個別支援	—	5件

介護事業場就労環境整備事業

区分	開催日	参加者数
HOWTO 介護の労務管理セミナー	11月11日(金)	27名
個別支援	—	6件

※個別指導は、社会保険労務士による事業場訪問指導

無期転換セミナー事業

間近に迫る「無期労働契約への転換」対応セミナー

1月16日（月） 参加者数 70名（富山会場）

2月3日（金） 参加者数 50名（高岡会場）

<労働保険事務処理事業> 労働保険事務組合

労働保険料の申告・納付、雇用保険被保険者資格の取得・喪失の届出等の労働保険事務処理代行の事業です。

区分	富山	高岡	魚津	砺波	合計	前年度比
委託事業主数	167	26	4	0	197	△2
雇用保険被保険者数	2,190	227	10	0	2,427	42

<労働災害保険事業> 100円労災

労働災害が発生した場合に、法令給付に上乗せするものです。

区分	富山	高岡	魚津	砺波	合計	前年度比
加入事業場数	39	29	23	8	99	△5
加入者数	1,554	678	840	276	3,348	△97
給付件数	2	3	0	0	5	△6

<公益目的事業> 広報紙「とやま労基」の発行

- ・「とやま労基」は、4月、7月、9月、11月および1月の5回発行しました。
- ・1回の発行部数は4,300部、主な配布先は協会会員、労働災害防止団体、経済団体、富山労働局・各労働基準監督署などです。
- ・「企業紹介」、「産業医に聞く!Health Care」、「知っておきたい法律判例Q&A」、「災害事例」を連載しています。
- ・昨年12月からスタートした「ストレスチェック制度」に係る解説記事を掲載しました。また、昨年引き続き、女性を活用している事業場を取り上げました。
- ・「安全優良職長厚生労働大臣顕彰」受賞者、中央労働災害防止協会の「緑十字賞」受賞者並びに中小企業無災害記録証「銀賞」受賞事業場のインタビュー記事を掲載しました。

2 対処すべき課題

当協会の経営基盤である講習事業は、少子高齢化による労働力人口の減少に加え、競合他社の参入など、中長期的には厳しい状況が予想されます。また、会員の減少も続いています。

これらのことから、平成 29 年度は、受講者数実績及び受講者からの要望を踏まえた計画定員を策定し、講習教育事業全体の充実を図ります。

また、会員増対策として、個別訪問並びに未加入（非会員）事業所に対して案内書を送付し、協会の周知広報に努め、会員の増を目指します。

3 財務状況の推移

(単位:千円) (注:千円未満切捨て表示)

区 分	平成 24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度
講習会事業収益	182,054	181,542	192,850	196,407	202,570
経常増減額	11,706	3,145	9,764	14,106	15,067
一般正味財産増減額	6,505	2,871	9,513	14,428	14,866
総 資 産	336,014	343,253	426,320	432,094	443,395
設備投資額	16,815	2,681	123,531	3,302	2,639

(注：平成 26 年度は事業用定期借地 3 筆 106,747 千円取得、設備投資額及び総資産増加)

II 法人の概況（平成 29 年 3 月 31 日現在）

1 主要な事業内容

労働安全衛生関係法令に定める資格付与・教育の事業、労働関係法令普及啓発事業、労働災害防止普及指導事業、災防団体等共催事業、労働保険事務処理事業、労働災害保険事業、広報紙「とやま労基」発行の公益目的事業

2 事務所

本 部 （富山市）

支 部 富山支部（富山市） 高岡支部（高岡市） 魚津支部（魚津市）
砺波支部（砺波市）

3 会員の状況

脱退の理由を見ますと、廃業・統合等が 74% 占めるものの、「加入メリットが見当たらない」等とするものが 26% あります。

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
新規加入	37	30	23	37	29
脱 退	44	74	49	41	34
増 減	△7	△44	△26	△4	△5
年度末会員数	2,422	2,378	2,352	2,348	2,343

4 職員の状況

22人（前年度末比－1）

5 当協会の役員氏名等

氏 名	地位および担当	常勤、非常勤の別
矢野 茂	会 長 *	非常勤
井上 孝	副会長 *	非常勤
小林 昌行	副会長 *	非常勤
中田 邦彦	副会長 *	非常勤
河本 浩一	富山支部長	非常勤
大澤 勝実	高岡支部長	非常勤
田原 建治	魚津支部長	非常勤
澤田 喜朗	砺波支部長	非常勤
安武 聡	理 事	非常勤
平木 和行	理 事	非常勤
高沢 肇	理 事	非常勤
小川 祐示	理 事	非常勤
松本 重夫	理 事	非常勤
向井 貴彦	理 事	非常勤
伏木 康弘	理 事	非常勤
井沢 勝己	専務理事	常 勤
塩原 日佳	本部事業部長	常 勤
橋向 隆夫	富山支部事務局長	常 勤
山本 達也	高岡支部事務局長	常 勤
辻 利彦	魚津支部事務局長	常 勤
村山 武文	砺波支部事務局長	常 勤
岩城 裕一	監 事	非常勤
酢谷 健司	監 事	非常勤
佐々木祐二	監 事	非常勤

梶谷 公康	監 事	非常勤
-------	-----	-----

(注1) *印は、代表理事であります。

(注2) 当期中における役員の変動は次のとおりです。

平成 28 年 6 月 14 日	理事 鷹西賢一、同 細井詩郎が退任 監事 浅野弘昭が退任
平成 28 年 6 月 14 日	塩原日佳、平木和行、松本重夫、安武聡が理事に就任 酢谷健司が監事に就任
平成 28 年 9 月 30 日	理事 吉川正吾が退任

以 上

附 属 明 細 書

事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。

以 上